

美濃口武雄名誉教授 著作目録抄

- 1962年 「技術進歩と経済成長」(卒業論文)
- 1964年 「価格変動と市場構造」(修士論文)
- 1967年 「経済機構と価格変動」(博士課程単位修得論文)
「地代概念の拡充—地代と価格の関係—」『一橋論叢』第58巻第5号
- 1969年 「新古典派の分配理論—加重問題の学説史的展望—」『一橋大学研究年報』
- 1970年 「古典派の賃金理論—賃金基金説の学説史的展望—」『一橋大学研究年報』
- 1971年 「利潤の性質と源泉」『一橋論叢』第66巻第5号
「限界革命と現代経済学」『経済セミナー』日本評論社
「賃金と物価—古典派とケインズ派—」『一橋大学研究年報』
「所得分配論」増田・馬場・都留・小泉編『経済学ガイドブック』東洋経済新報社
- 1972年 スターニャー, ヘイグ『価格理論』(翻訳)春秋社
- 1973年 「限界革命の起源」『一橋論叢』第70巻第5号
- 1974年 「第4章 限界革命の経済学 1. ジェヴォンズ, 2. メンガー, 3. ボエーム・バヴェルク, 4. ヴィクセル, 5. マーシャル」中山・荒・宮沢編『原典による経済学の歩み』講談社
「8 経済学史」荒・種瀬編『経済学用語の基礎知識』有斐閣
- 1975年 「古典派と新古典派—地代論の観点から—」『一橋論叢』第73巻第1号
「カール・メンガー」コリソン, ブラック編, 岡田純一・早坂忠監訳『近代経済学と限界革命』(翻訳)東洋経済新報社
- 1976年 「近代経済学のパラダイム」『一橋論叢』第75巻第4号
- 1977年 スターニャー, ヘイグ『所得・成長の理論』(翻訳)春秋社

- 1978年 「マーシャル『経済学原理』」「ジョン・ロビンソン『不完全競争の経済学』」樋口・前田編『経済学の古典（下）—近代経済学—』有斐閣
 「6.『一般理論』」浅野・則武編『ケインズ—著作と思想—』有斐閣
 “The Core of the General Theory.” *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.19, No.1.
- 1979年 『経済学史—近代経済学の生成と発展—』有斐閣
 「ケインズ『一般理論』の本質」『一橋論叢』第81巻第1号
- 1980年 「『一般理論』の生成過程—生産の貨幣理論の観点から—」一橋大学経済研究所『経済研究』第31巻第2号
 「V 分配 6 地代」『経済学大辞典』（1）東洋経済新報社
 「現代経済学への若干の疑問」『一橋論叢』第84巻第5号
- 1981年 『経済学説史』青林書院
 “Process of Writing the General Theory as a Monetary Theory of Production.” *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.22, No.2.
 「ケインズの貨幣経済論」『経済セミナー』日本評論社
 「フリードマンの貨幣的経済理論」『経済セミナー』日本評論社
- 1982年 『近代経済学入門』中央経済社
 “Some Questions about IS-LM Interpretations of the General Theory.” *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.23, No.2.
- 1983年 「『貨幣論』のケインズ」『経済セミナー』日本評論社
 「ケインズの経済政策」「やさしい経済学」日本経済新聞（4月19～23日）
- 1984年 「経済諮問会議とケインズ」「やさしい経済学」日本経済新聞（4月9～13日）
 「青木氏の二つの定式化—その学説史的検討—」『国学院経済学』第32巻第1号
- 1985年 「貨幣経済論としての『一般理論』」「やさしい経済学」日本経済新聞（3月18～22日）

- 「貨幣経済論としての『一般理論』時子山・武隈・美濃口編『現代経済学の新展開』(荒憲治郎先生還暦記念論文集)有斐閣
- 1986年 『『一般理論』50年, 成立の背景]「やさしい経済学」日本経済新聞(1月18~22日)
- 「ケインズの貨幣供給論—内生説と外生説—」『一橋論叢』第96巻第5号
- 「IS-LM分析への若干の疑問」[経済諮問会議とケインズ]早坂忠編『ケインズ主義の再検討』多賀出版
- 「ケインズ経済学の一橋における伝統と現状」橋間叢書第50号一橋の学問を考える会
- 1987年 「ケインズ主義の再検討」『一橋論叢』第97巻第6号
- 「エコノミックスとポリティカル・エコノミー」一橋大学『古典資料センター研究年報』第17巻
- 1988年 『現代の日本経済』日本放送協会学園
- 1989年 「マルサスとリカードの穀物法論争」一橋大学古典資料センター Study Series No.17
- 『経済学概論』創成社
- 「ケインズ経済学の一解釈」『一橋論叢』第99巻第5号
- 1990年 『経済学説史—イギリスの経済と経済学の歴史—』創成社
- 1991年 「農業自由化の歴史的考察」一橋大学開放講座『如水會々報』
- 1992年 「アルフレッド・マーシャルとケンブリッジ学派の経済学」一橋大学古典資料センター Study Series No.26
- 1993年 「ジョン・メイナード・ケインズ」『一橋論叢』第103巻第4号
- ロバート・スキデルスキー著『ジョン・メイナード・ケインズ第2巻』(書評)
- 『学燈』Vol.90, No.10
- 1994年 “Some Questions about IS-LM Interpretations of The General Theory”, John Maynard Keynes, Critical Assessment, Second Series, Vol.V, edited by Cunningham Wood Routledge.

- 1995年 吉川洋著『ケインズ—時代と経済学』（書評）東京新聞（8月20日）
- 1996年 根井雅弘著『ケインズを学ぶ』（書評）東京新聞（6月21日）
- 1999年 「ケインズ ‘有効需要の原理’ 再考」『一橋論叢』第121巻第6号
「中山伊知郎と日本経済」「東畑精一と日本の農業」池尾愛子編『日本の
経済学と経済学者—戦後の研究環境と政策形成』日本評論社
- 2000年 “Ichiro Nakayama and Japanese Economy”, “Seiichi Tohhata and
Japanese Agriculture”, *Japanese Economics and Economists since
1945*, edited by Aiko Ikee, Routledge.
「貨幣経済論としての ‘一般理論’」『一橋論叢』第124巻第6号
- 2001年 「ケインズの経済政策—真のケインズ政策とは何か」『一橋論叢』第125
巻第6号
- 2002年 「ケインズの経済政策—真のケインズ政策とは何か」一橋大学開放講座
『如水會々報』